

『営農アンケート』集計結果の説明

～西山、坪井、千切、出口地区集計～

1

令和2年12月2日

香南市農林水産課

『営農アンケート』集計結果の説明目的

- 営農アンケートの結果を地区会合の参加者間で共有し、**地区での共通課題を参加者で確認**する。
 - 農地所有者や農業者の年齢構成を知り、後継者の有・無を含め、今後の地区の農業継続性の現状を理解する。
 - 農業者や農地所有者の農地の現状認識を確認する。
 - 持続可能な農業に向けての考え方の傾向を共有する。
- アンケートの内容をできるだけ可視化し、地区の会合で**活発な議論を呼ぶ材料**とする。
 - 自由記述意見をコメントとして記述し、できるだけ生の声を再現する。

注) 営農アンケートの利用について

- ① アンケートでご回答いただきました内容は、『人・農地プラン』事業関係の事項に利用させていただき、他の目的では使用しません。
- ② 地区の会合等でアンケートの集計結果のまとめを説明する際に、お名前などを含めてプライベートな事項は出ないように処理したうえで、コメントを利用させていただきます。

地区の皆さま、以上のご了承をお願いいたします。

『営農アンケート』の概要

- **目的**：人農地プランの策定に向けて、農地所有者、後継者、耕作者の現状、今後の営農の意向を把握する。
- **対象**：香南市にある農地の所有者、後継者、耕作者
- **方法**：郵送でのアンケートへの回答、または農業委員・推進委員による戸別訪問での聞き取り
- **使用データ**：農家台帳（令和元年12月16日時点）
- **件数**：宛先不明等を除いた実質 **5,864件** （総数 7,302件）
- **実施**：令和元年12月～令和2年7月
- **回収終了**：令和2年9月23日
- **回収件数**：3,330件 （56.8%）
- **面積**：1520ha （64.4%）

西山・坪井・千切・出口地区の営農アンケート回収状況

5

(注) 農業委員・農地利用最適化推進委員による個別訪問調査も含む。

- 397通送付し返信数は231通であり、返信率58.2%となった。
- 返信者の農地所有面積集計では、地区全体の65.3%となった。

表1) 地区別返信率 (人数)

No.	地域	実質数	返信数	返信率
1	佐古	303	185	61.1%
2	西野・大谷・深淵	560	319	57.0%
3	下井・上岡	314	208	66.2%
4	東野	433	216	49.9%
5	富家	285	156	54.7%
6	香宗	235	143	60.9%
7	吉原	290	146	50.3%
8	古川	200	130	65.0%
9	赤岡	174	118	67.8%
10	徳王子・岸本	592	344	58.1%
11	山南	484	266	55.0%
12	山北	380	203	53.4%
13	西川	247	140	56.7%
14	東川	209	113	54.1%
15	舞川・撫川・奥西川	103	57	55.3%
16	西山・坪井	397	231	58.2%
17	十ノ木・上夜須	181	95	52.5%
18	夜須川・細川・国光	207	124	59.9%
19	羽尾	36	26	72.2%
20	手結山	234	110	47.0%
	合計	5,864	3,330	56.8%

表2) 地区別返信率 (面積)

No.	地域	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積比率
1	佐古	1,297,261	744,122	57.4%
2	西野・大谷・深淵	2,360,164	1,572,798	66.6%
3	下井・上岡	1,314,818	908,980	69.1%
4	東野	1,825,753	1,048,214	57.4%
5	富家	925,220	618,222	66.8%
6	香宗	739,417	455,440	61.6%
7	吉原	809,809	424,597	52.4%
8	古川	437,288	260,175	59.5%
9	赤岡	580,401	450,114	77.6%
10	徳王子・岸本	3,020,829	2,228,900	73.8%
11	山南	2,365,532	1,459,258	61.7%
12	山北	1,749,997	1,196,689	68.4%
13	西川	1,107,364	738,328	66.7%
14	東川	777,707	485,386	62.4%
15	舞川・撫川・奥西川	277,516	143,200	51.6%
16	西山・坪井	1,600,275	1,044,408	65.3%
17	十ノ木・上夜須	801,984	453,988	56.6%
18	夜須川・細川・国光	695,643	402,999	57.9%
19	羽尾	134,915	73,671	54.6%
20	手結山	781,247	491,765	62.9%
	合計	23,603,141	15,201,256	64.4%

各集落の回答状況

- 各集落共に約半数を超える所有者・農業者の方々にご回答をいただきました。
- 回答いただいた方の人数および面積も各集落で過半数を超えました。

表3) 集落別返信率（人数）

No.	集落	対象数	発送不能 宛先不明	実質数	返信数	実質返信率
16-1	西山	161	38	123	77	62.6%
16-2	坪井	171	30	141	78	55.3%
16-3	千切・出口	164	31	133	76	57.1%

表4) 集落別返信率（面積）

No.	集落	現況面積(m ²)	返信(m ²)	返信面積率
16-1	西山	492,192	277,080	56.3%
16-2	坪井	538,014	355,111	66.0%
16-3	千切・出口	570,069	412,217	72.3%

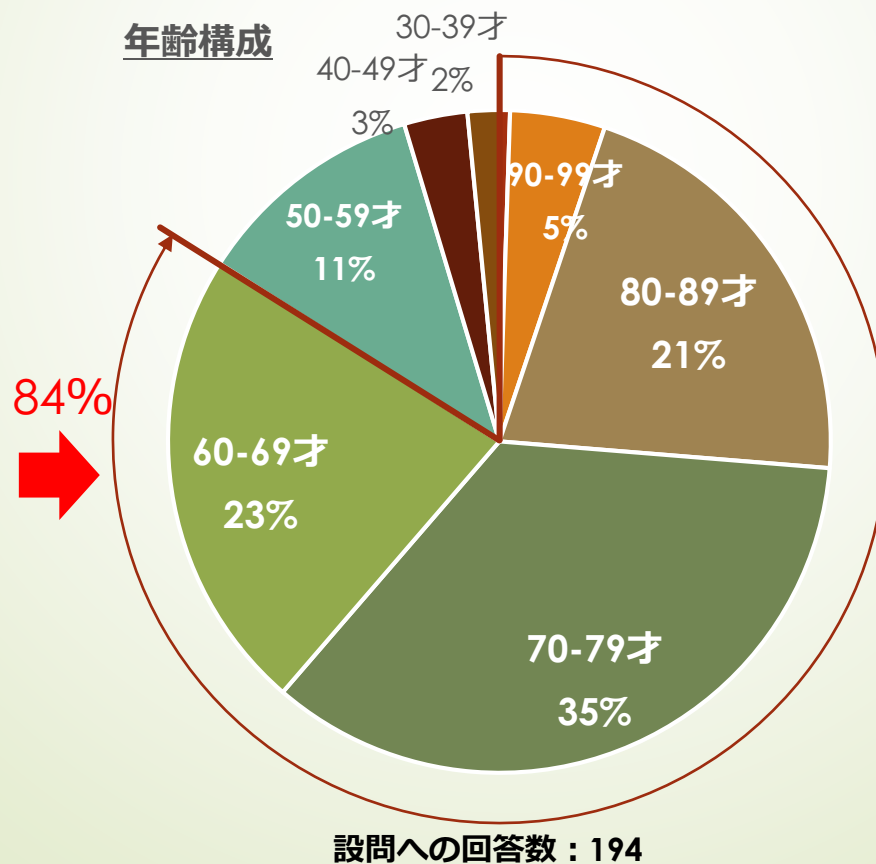
・・・アンケートへご協力いただきましたこと、改めて感謝いたします。

アンケート集計 (1)

7

アンケート回答者（農地所有者、農業者）の年齢構成

- 回答者（農地の所有者、農業者）の84%は60才以上の年齢層である。



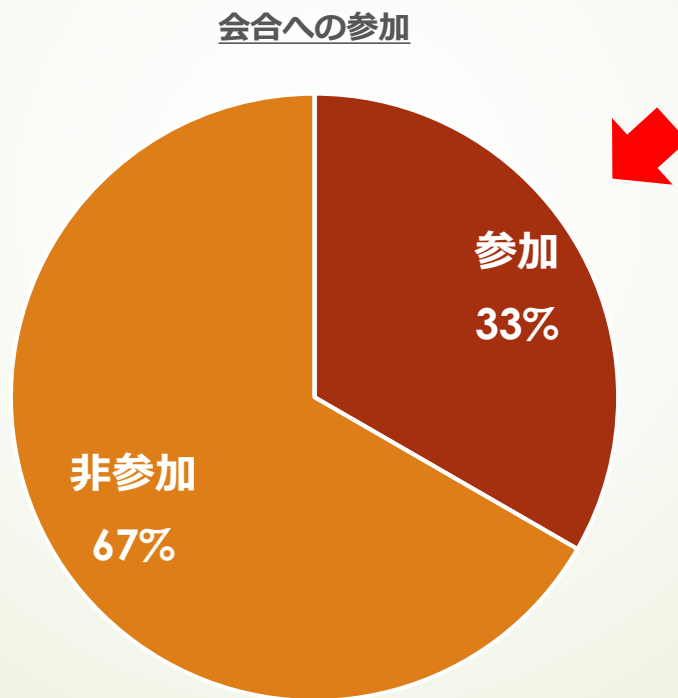
アンケート集計 (2)

地域会合への参画意向

8

話し合いへの参加希望 (取組に対する意見等)

- 回答者の33%は地区会合に参加を希望されている。
- 参加辞退者でも、会合の議論内容を知りたい、方針を知りたい、との意向がある。

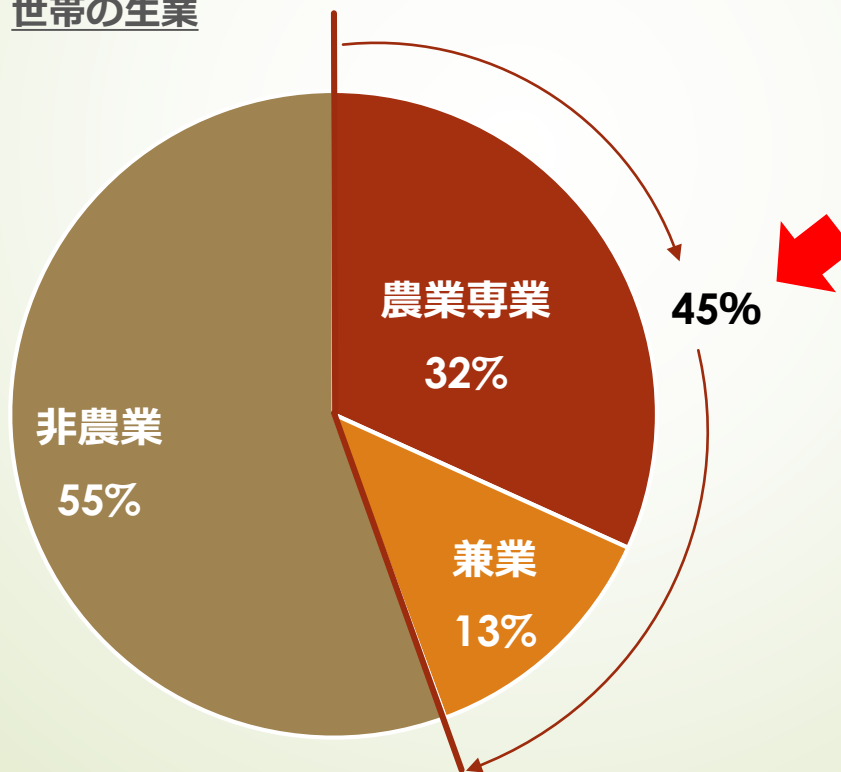


設問への回答者数 : 57

Q1. あなたの世帯は、どのような世帯ですか？

- 専業、兼業合わせても農業を営む割合は45%にとどまっている。
- 農業を営んでいない人は55%であった。（離農し他の職業へ、相続、高齢、施設入所、県外など遠方に転出：土地持ち非農家、等が推測される。）

世帯の生業

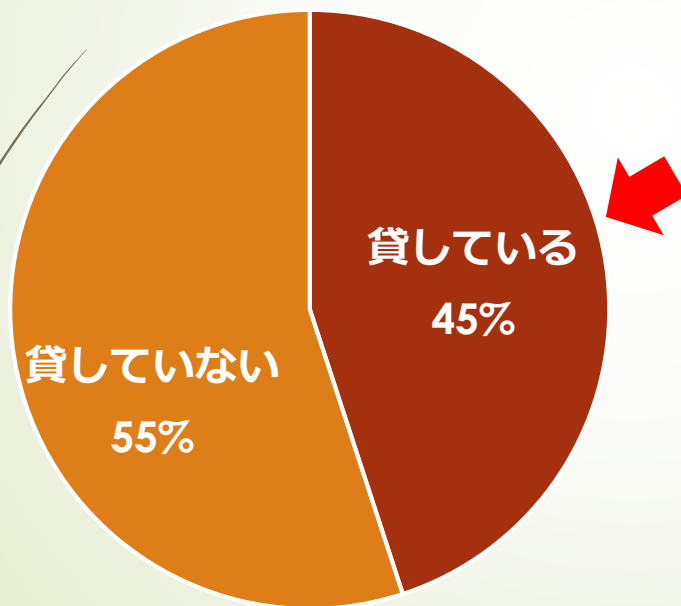


設問への回答数：214

Q2. 現在、人に農地を貸していますか？

■ 現状で農地所有者の45%は農地を貸している。

農地の現状



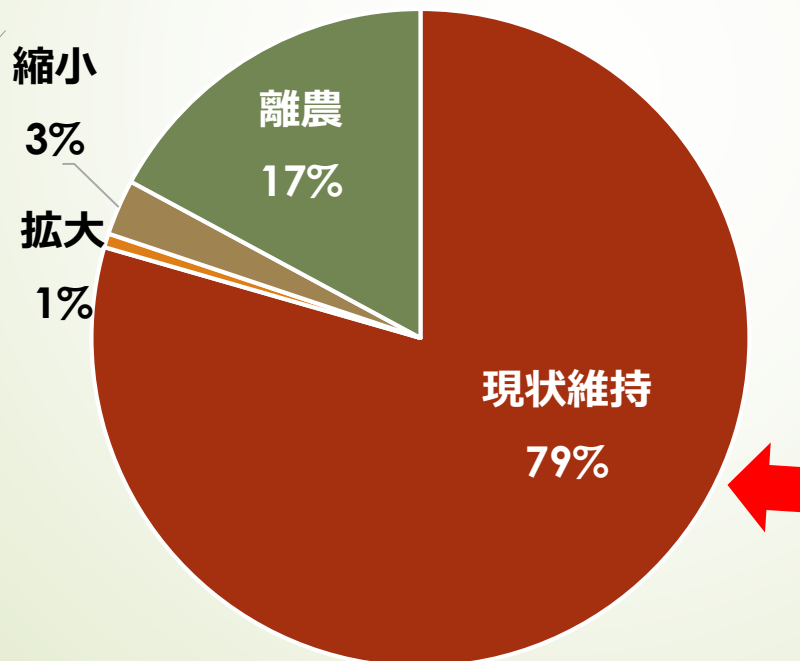
コメント：

- 現在借り手の居る田は貸している。田は全部借りてもらっている。
- 賃貸については契約書を取り交わす必要あり。不明瞭な賃貸関係があると聞いている。
- 知り合いに耕作をしてもらっていますが、続けられない様で、放棄したいと思っている。

Q3. 5～10年後を考え、あなたはどのようにしていきたいですか？

- 今後も現状維持する、との意向が79%あった。
- 一方、農業を辞める（見込みも含め）あるいは縮小との回答も併せて20%あった。

今後5年～10年の意向



コメント：

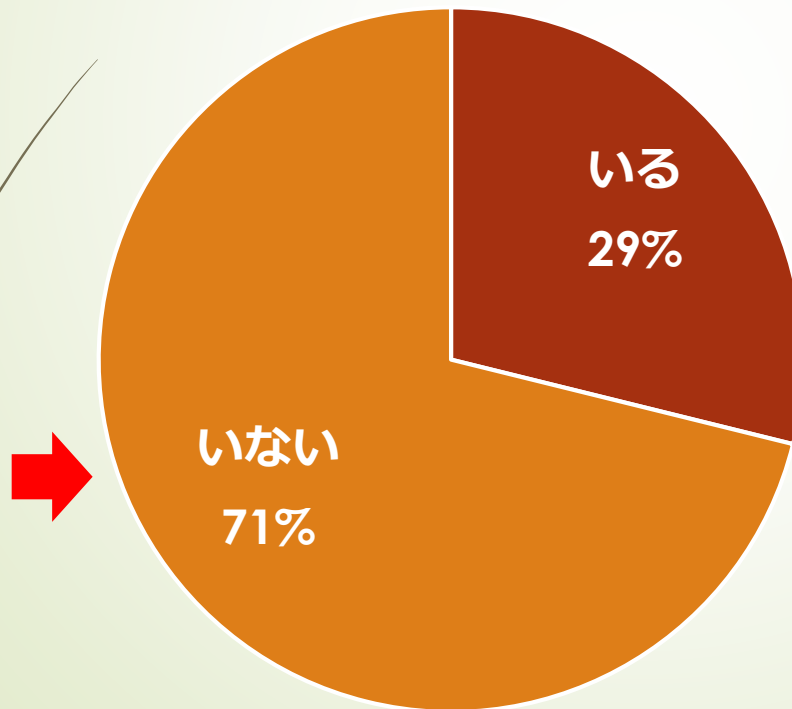
- ・ 病気で体調が悪い。親戚が来て（農業を）やったりするかもしれないので、（農地は）そのままにしておく。

設問への回答数：146

Q4. 後継者（農業後継者）はいますか？

- 農業後継者のいない割合が71%あった。
- 将来的に後継者への継承も伺える希望的状况もあるが、明らかに後継者の居ないという状况もある。

農業後継者



コメント

- 10年後、長女夫婦が帰ってくるので、菜園可能となるのではと思っています。
- 子供が一人いるが農業以外の仕事をしている。自分は高齢となってきた。
- 子供もないので、土地も里からもらった物であるので、里に戻すつもりであるが、（職業的）農業後継者は居ない。

設問への回答者数：201

アンケート集計 (7)

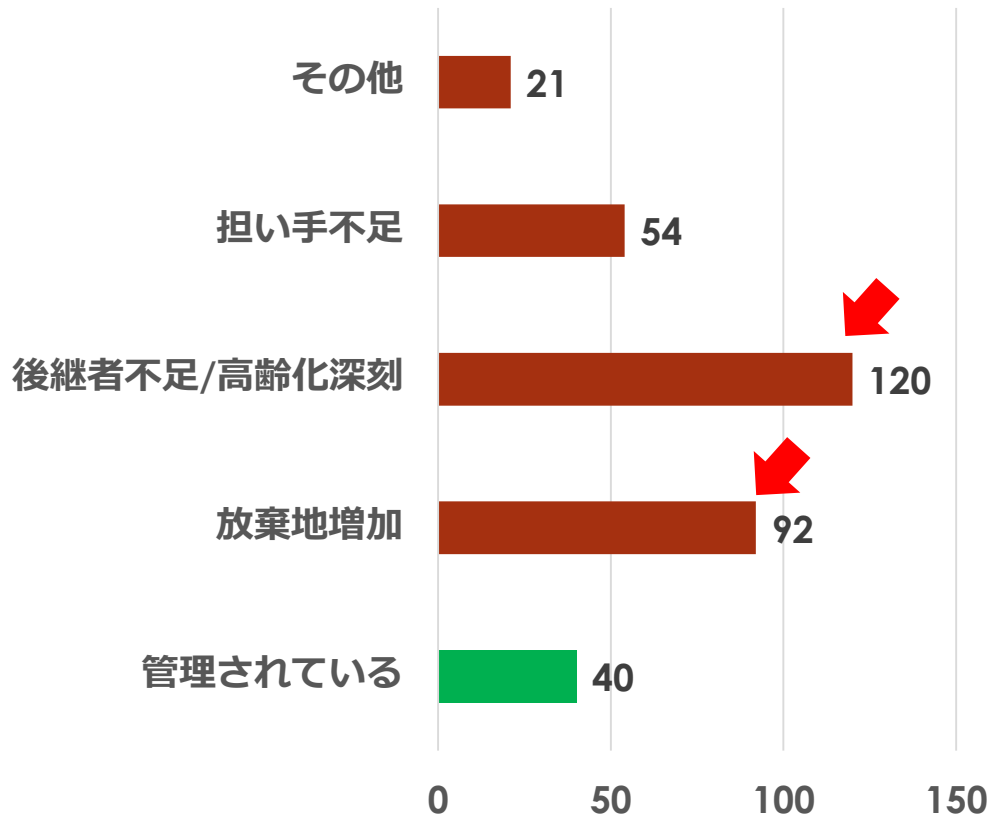
地域の状況認識

13

Q5. あなたの地域の農地や農業者の状況は、いまどのようなようになっていますか？

- **後継者不足や高齢化が深刻化している、放棄地が増加あるいは放棄地として定着している、との認識が多い。**

地域の農業者/農地の状況



設問への回答数 : 327

コメント :

- わからない
- (農業を) やっていないのでわからない。
- 遠くにいるので、わからない。
- **すでに持続可能な状態にない。**
- 畑の放棄がすすんでいる。
- **すでに、耕作放棄。**
- 農地に隣接する住居が空き家となっており、所有区画全体で使用していない状況。
- 放置農家が増えて、竹やぶになったりした畑が増えています。対策はないでしょうか？
- 山際の畑は借り手もなく、イノシシ等の害もあり。耕作できない為、**山林として植林しているのが現状**である。
- 畑周辺の草刈りがえらいわ！
- 農地が売れるまでに、**雑草等で周囲に迷惑がかかる**ことを心配している。
- 家庭菜園になっています。
- 現在の農地は相続によるもので、近隣の方にお貸ししています。古くから継承してきた土地ですので大切に考えたいと思います。**地域の為にも、継続して活用**されることを望んでいます。

アンケート集計 (8)

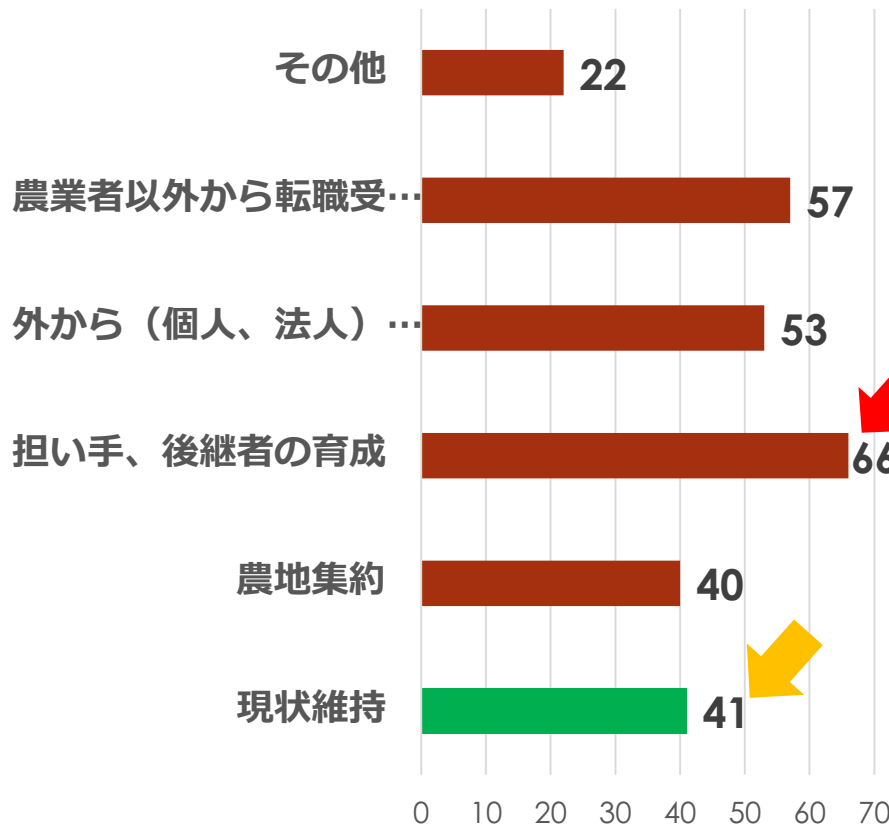
持続可能な農業のために

14

Q6. あなたの地域の農業が5～10年後も持続可能なものとするために、どうしたらよいと思いますか？

- 現状維持でよいとの認識もあるが、担い手後継者の育成を、との声も多い。
- 集落営農、共同農業経営、法人化への言及もある。

持続可能な農業



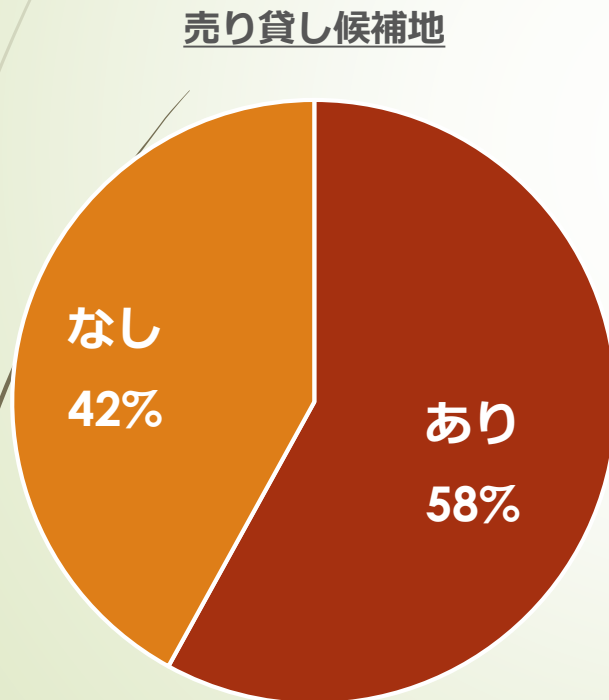
設問への回答数：279

コメント

- ・住民の減少、高齢化に加えて、狭い農地（畑地）では対応はむづかしい。
- ・軽トラ、乗用トラクター等使用できる状態ではない。
- ・道路、水路、山林整備と鳥獣害対策してないと、下流域も営農できなくなる。
- ・分からない。（5）居住していないので不明。
- ・作る物が無い。何か産業があれば担い手も生まれると思う。
- ・共同農業経営を確立して、近代先進農業の推進。
- ・農家が集まって会社を組織し、その社員となって働く。
- ・集落営農を立ち上げて、後継者が居なくなり、運営が難しいところが多々ある。
- ・「農地を集約」できない奥地はかなり難しい。
- ・耕作放棄地をなくすために努力していますが、山田の畦の修復もままならない現状ではどうしようもない。災害復旧を進めてもらいたい。
- ・せめて水路岸の修復や、道橋の改善等、災害での改修。橋が流れては、年寄り移動できない。農地の買い手がありますか？特に田舎では。

Q7. あなたの農地で、売ったり貸したりしてもよい農地やハウスがあれば教えてください。

- 農地の借り手の高齢化も進んできている。
- 売却希望の背景には、県外/市外に在住しており耕作地までが遠距離のケース等がある。



設問への回答数 : 81

コメント

【貸したい】

- 高齢化等で管理する者がいない。(4)
- 作物の栽培・耕作が困難。一人ではできない。
- 現在も貸して耕作してもらっている。

【売りたい貸したい】

- 高齢化
- 維持管理する者が居ない。
- 宅地に囲まれ利用できない状況。
- 高齢化等で知人が農業を辞めた時、農地を売りたい。借り手がいれば貸したい。水稻をやめたため。
- 現在貸しているが、あと数年で終了予定。貸している方が高齢。
- 高齢と遠方の為、管理できない。シルバー人材センターさんに頼んだりしてきましたが、現在は年に1度は家族で草ひき等に行っております。

【売りたい】

- **高齢化の為、維持できない。**
 - 維持管理する者が居ない。
 - 高齢で管理する者がいなくなる虞れ。
 - 維持管理ができていない。
 - 高齢の為。
 - 維持管理がむづかしい。今後高齢化により。
 - 高齢化、維持管理するものが居ない。
 - 後継者が居ないので無償でも良い。譲りたい。
 - 維持管理者が居ない。
 - 高齢で田畑の草や周りの草刈り等の整地がむづかしくなったので。
 - 梅の木あり、管理できない。
- 今はハウスで使ってもらっているが、返されたら（売りたい）。
- 現在貸しているので、そのまま貸してもよいが、**いずれは売りたい**。高齢の為、農業は出来ない。後継者も土地管理も難しい。
- 使用していない為。
- **現在営農しておらず、後継者も居ない。** 将来的に持ち主不明になるのではないかと案じている。
- 50年以上使用していない。市道新設の際に、区画の一部の売渡を求められ、変形地となり、他の使用用途としてもつかいづらい。農地全体の買取を求めたが、応じてもらえなかった。
- 約50年前道路ができる予定で、別荘地として購入したが、道路は出来なかったなのでそのままにしてある。
- **田舎に帰る予定が無くなった。**
- 奈良県在住で、今後土地の管理ができなくなる為。
- 遠方の為、売却を希望します。
- **多分、夜須には帰れないと思うので。**
- 現住所が大阪で、親から相続したもの。何もできないので。どの様にしてもらってもよいので、よろしく願います。放棄したいと思います。

■ アンケートからの農地の売却・賃貸希望の背景概要

17

農業者側の事情

- 高齢化、体力・気力低下
- 所有者/借地者の病気
- 県外など遠方に在住
- 農機具を所有していない
- 他の仕事に専念
- 後継者不在/跡継ぎまで年数要
- 耕作者である借地人も高齢/後継者が居ない

農地を農地として管理できない。

耕作条件

- 小さい農地区画
- インフラ（農道/水路）不備
- 病害（生姜）/使用形態（養殖）

農地としての適性が低い。

農業の採算性

- 米づくりでは赤字

農業（稲作）を続けられない。

資産活用

- 生活費の捻出
- 事業の資金の調達
- 貸地としても経費（公租公課、水利）要

農業以外で資金需要がある。

賃貸

売却